

【学校推薦者（大学）向け特別号】

～志望理由書・自己推薦書の自己点検について～

1 志望理由書

志望理由の記述において、かなり以前（例えば、小学生の頃）の動機から、いきなり現在の志望動機に飛躍しているものは不自然です。また、興味・関心を抱くようになったきっかけとして、オープンキャンパスの参加だけを記述しているものは、それまで何の興味・関心もなかったと解釈されます。この場合、オープンキャンパス参加以前の興味・関心と繋げて書くことが必要です。

<自己点検のポイント>

（１）興味・関心（動機）を過去・現在の学習、部活動などから説明し、それが現在までどのように深められてきたかが記述されていること。また、その興味・関心を志望学部・学科の内容と結びつけている。

（２）自分の興味・関心との関係で志望大学・学部・学科の特徴を踏まえ、卒業後の就きたい職業・やりたいことなど将来の抱負が記述されている。

2 自己推薦書（自己アピール）

自己推薦書には、次のような面で活動実績（自己アピール）がなければなりません。

語学能力、スポーツ・文化活動、ボランティア活動、発明、ITスキル、指導性、独創性、学業成績 など

自己推薦書は、単に自分の性格（長所や短所など）を紹介するものではありません。必ず、大学のアドミッションポリシー（求める学生像）を確認し、入学後に学ぶこととの関係で、自己アピールの内容を検討することが必要です。

<自己点検のポイント>

（１）長期間（少なくとも高校３年間）の活動実績があり、その活動を通して得られた能力、賞、資格などが記述されている。

（２）継続した活動を通して考えたこと、問題になったこと、その問題への解決方法、今後の残された課題といったことまで論述されていること。さらに、それとの関係で学びたいことや将来の抱負が語られている。

※自己点検・評価の結果、不十分なものは書き直しましょう。